

人材不足、会場不足などで、 地域活動の継続が困難になっ ている

(きた)

既存の地域活動を行う グループ内で次を担う方 がいない (みなみ)

体操以外の活動の場が

少ない

(にし)

活動している方への支援・ 援助

担

61

丰

(協議体より)

ボランティアなどの活動を何かやり たいと思ってもどこに聞いたら良い かわからない、情報がいろんなとこ ろにあってどれを見たら良いかわか

(みなみ)

地域とのつながりがなく、 孤立したまま困難に直面す る高齢者が増えている

(きた)

1)

情

報

孤立しがちな高齢者(※) をインフォーマル支援にどうつなげるか (※)閉じこもりがちな独居・高齢世帯

## 地域デビューガイド作成

- お元気サミットレッツ!地域デビュー!実施
- ・課題共有会議実施
- ・地域デビュー講演会

~住民主体のいきがいのあるまちをつくろう~

各種 養成講座の実施

第2層協議体

男性が参加しやすい

社会資源が少ない

(にし)

生活に係るちょっとした 困りごとがある

(ひがし)

## 高齢期のお金の管理

- ・啓発パンフレット作成
- ・各圏域でお金の管理講座を実施
- ・出前講座の登録

お互い様からつながる地域づくり

地域の困りごとについて地域で考える→土壌づくり

サービスの創設ではなく、地域で 解決する土壌づくり 核家族が多いため、子ども 世代にも、親の加齢に伴う変 化やそれにより発生しうる困 りごとについての知識がなく、 介入が 遅れがちである

(きた)

高齢になると起こりうる困り ごとへの備え、いざという時 の備えが十分にできていない

(きた)

地域住民で認知症と思われる

方がいてもどう対応したら良

いかわからない

(みなみ)

外出した時に休む場所

(ひがし:協議体より)

(ベンチ) がない

町会の加入率が減少傾向にある一方、災害が相次いだことから、共助に向けての地域づくりに関心を持つ人も増えており、その連携のサポートが必要

(きた)

地域

保証人がいない

(社協:協議体より)

移動手段

(みなみ・にし:協議体より)

スマホサポーターの活用

社

会

資

近くにスマホを学べる

ところが必要

(にし)

資料5

町会活動の解散

(町会:協議体より)

	令和5年度・令和6年度 第2層協議体実施内容					
	圏域	活動名	課題	目指すゴール	必要な取り組み	実施してよかったこと
新規立ち上げ	きた	梶野町オレンジカフェ	だれでも気軽に集まって話せる場所を地域に増やしたい	地域の事業所や住民との連携	ボランティア・担い手の育成	
	みなみ	天神ボッチャの会	おしゃべりと軽く体を動かす活動の場があると良い	天神ボッチャの会立ち上げ 意思統一	令和6年度から自主化決定。活動保険、いきいきサロン加入の手続き	
		貫井住宅認知症カフェ	住民主体の認力フェ	住民も一緒になって開催する認知症カフェにしていくことの共通認識をつくる	自治会役員の負担あり。参加者から人材育 成、住民主体へ	
		貫井住宅さくら体操	貫井住宅集会室のさらなる通いの場のニーズはある。住 民主体による通いの場を増やす必要がある	住民による自主グループ設立への気運をつくる	組織化へ消極的。自治会以外の近隣住民参加 の間口を広げ、協力しあいながら定期開催へ 人材発掘が必要	
	ひがし	料理クラブたちばな	サービスC終了後、自身の強味を地域で生かす	自主グループの立ち上げ	いきいきサロン事業登録。飲食について確認 が必要 会計担当の確保	
		スマホちょこっと相談室 (荻の家)	東小金井エリアに相談室がない	東圏域の相談室確立	自転車置き場の確保、整理人員が必要か	
		さくら体操(荻の家)	さくら体操自主活動グループの立ち上げ	「荻の家」を活用し、自主活動を始動する	いきいきサロン事業登録 会計担当の確保	
	にし	ぬくい温ぬくサロン	近所で見守りができる場が必要(高齢者の孤立化・認知 症状の早期発見)	さくら体操自主グループの立ち上げ	人が集まる場所、異世代交流、コミュニケーションの場 近隣の町会との連携	
継続支援	きた	おしゃべりサロン(旧ピア サロン)	ピアサロン活動終了後、活動継続に向けて	継続するためにはどうすればよか、互いにでき ること意見交換	サロンリーダーのほか、近隣薬局と民生委員 の協力 一人で長く話し続ける人の対応	
	みなみ	四小さくら体操の会	リーダーが昨年より一人欠員し、リーダー一人体制。 リーダー負担の無い活動継続の仕組みがない	具体的にどのような不安や課題があるか共有 し、今後の話合いの土壌を作る	リーダーー人体制、高齢化、会場予約等みんなで運営していくための継続的な話し合いが 必要	
	ひがし	さくら体操(荻の家)	今後の活動の方向性について検討	皆が賛同した形で活動の方向性、継続性を決定する 次年度の運営方法の決定	会場サポート、会計フォローをしながら自主 化を目指す	
	にし	本町住宅けんこうさろん	参加メンバーの固定化、新規参加者が増えない 住民主体の活動に向けて	活動継続の意思確認 活動の見直し	情報発信、イベント実施 参加者同士のおしゃべりの時間をつくる	
		恒春会(さくら体操)	リーダー欠員・今後の運営について	参加者の活動継続の有無の意向確認 継続の場合、活動の見直し	新代表・副代表を決定 町会との連携	
連絡会・多様な連携	きた	さくら体操自主グループ リーダー連絡会	安心して活動を継続していくために、気軽に相談した り、意見交換する場をつくり、リーダー業務の負担軽減 することが必要	リーダーの活動の様子を共有、今後の活動の参 考にする。 課題について意見交換、リーダー同士の連携を うながす	後継者不足、担い手不足	
		ないまぜの会	地域の住民、事業者が集まり、互いの活動について情報 提供、情報共有を実施。 そこから協働して地域のためにできる活動を模索する。	互いの活動を尊重しながら、協働できることが らを検討し、実行する その他、参加者から随時提案された議題につい て、会で検討し、解決を目指す	テーマを決めず、やりたいことを形にしてい く。 人材発掘・人材育成	
		防災女子会 (防災カフェさくら)	地域住民のあいだでも防災に対する意識が高まっている。 防災については自助に加え、地域で住民同士が支えあう 共助が欠かせない 共助の基盤となる自治会・町会の活性化が必要	防災士や地域防災に関心のあるメンバーが情報 交換を行い、地域のために協働できる活動を模 索する 「きた包括防災講座」はじめ、防災のための包 括の取り組みに対し、提案、協力いただく	防災意識を地域住民へ広く広げる	
	みなみ	サロン連絡会	連携することで、相乗効果を期待したい。交流ができていない。	団体同士の連携、お互いの顔の見える関係の構 築	連絡会の再構築 人材発掘・育成	
	ひがし	ぷらっとふぉーむ六地蔵運 営委員会	主催事業の開催をしたい スペースの活用	主催事業を始める	美化活動開始 貸しスペースの運用・周知	